

Columns

■AWCS

Columns

Consideration of the portion worried in the case of site work.

- [Home](#)
- [JavaScript](#)
- [HTML](#)
- [CSS](#)
- [XHTML](#)
- [DHTML](#)
- [Columns](#)
- [Links](#)

サイト内検索 (Y)

AND OR

コーディング関連

[>正しいHTMLの書き方](#) [>HTMLでSEO対策](#) [>ソースを隠す方法](#)

Webデザイン関連

[>ユニバーサルデザイン](#) [>アクセシビリティ](#) [>ウェブユーザビリティ](#)

機能

[>PDF](#)

>Sponsored Link

Ads by Goooooogle

[アクセシビリティチェック](#)

Firefoxがそのままチェックツールに ダウンロード無料で今すぐ使えます

www.infoaxia.com/

[Web JIS X8341-3実践研修](#)

日経BP社の実践的研修型セミナー Web企画制作・発注者必修

edu.nikkeibp.co.jp

[WEB アクセシビリティ](#)

WcAG準拠、JISx8341準拠なら ミツエーリンクスにお任せください

www.mitsue.co.jp/

[Web アクセシビリティツール](#)

効率的なアクセシブルWeb制作 Dreamweaver機能拡張 新価格
¥ 37,800

www.sociomedia.co.jp/lift/

ユニバーサルデザイン考察などWeb制作に関する私的コラム～ユーザビリティ、アクセシビリティ、

SEO検索エンジン最適化～

>正しいHTMLの書き方

「手打ち」の功罪

サイトの作成をテキストエディタ、いわゆる『手打ち』で制作されている方は、自分の書いたHTMLにタグの閉じ忘れ等ミスが無いが多かれ少なかれ気になります。多かれ～と書いたのは、最近主流のブラウザはタグの閉じ忘れがあったとしても大抵の場合”閉じてある”ものとして自動的に解釈し表示してくれるため、タグの記述ミスが致命的になってしまうことが少ないからです。ただ、<TABLE>などの閉じ忘れは表示に不具合をきたす場合が多いので注意が必要ですよね。

そこで活躍するのがHTML文法チェッカーです。

HTML文法チェッカー

[☐ Another HTML-lint gateway](#)

は有名なサイトなのでご利用されてる方もいらっしゃると思います。まだの方は一度ご自分のサイトをチェックしてみると良いと思います。といたしますか面白いです、ある意味……。自分が一生懸命書いたHTML文章を『-150点』とか評価してくれます、ココ(笑)。タグの閉じ忘れもなく実際ブラウザでは何の不具合もなく表示されるのに、「あなたの書いたHTMLは間違っている」、。というんです。このサイトでHTMLには論理構造、正しい書き方が存在するというのを私は初めて知りました。

そこで当サイトはいわゆる『タグ屋』ですので、人にお教える手前上「いい点数取らねば！」と思い [W3C](#)などを通してこの論理構造を学びました。で如何にして良い点数を取るかを簡単にまとめてみました。

1. はじめに必ずDTD(文書型定義)をし、それに従って書く。
2. タグは大きくブロックレベル要素とインラインレベル要素に分かれる。どのタグがどの要素なのかを把握する必要がある。
3. CSSが推奨されているためレイアウトは基本的にCSSで統一する。

DTDについて

まず1.のDTDについてですが、HTMLには3.0とか4.01とかのバージョンがありまして、各バージョンで使用可能なタグや属性があるわけです。つまりHTMLのそのバージョンに正確なタグ打ちが要求されるわけです。ただここは躓くところではなくて、とりあえず当サイトのコンテンツHTML内 [☐ 文章の基本](#)でご紹介しているタグを冒頭に記述して、後から [Another HTML-lint gateway](#) で指摘されたエラー箇所を修正していく消去法でいいです。

とにかくこのDTD(文書型定義)が宣言(記述)されてないと正確なチェックをしてくれません。

ブロックレベル要素とインラインレベル要素

次に2.についてです。簡単に言うとインライン要素をブロック要素の中に入れることは出来ない、。ということです。つまり<I><H1>文字</H1></I>のような使い方は出来ない、。ということです。<I>文字</I>のようなタグの入れ子関係ミスのことではありません。当サイトのコンテンツHTML内 [☐ HTMLの基礎知識](#) でこれら要素を具体的に大別し掲載していますので参照してみてください。

CSSの推奨

次に3.についてです。先に述べた通りHTMLにはバージョンが存在します。その最新バージョン

HTML4.01で最も重要な点は「表示方法やレイアウトなど表現に関するタグを廃止し、スタイルシートを勧告する」方針を採ったことです。つまりや<CENTER>などのタグは無効、というわけです。ただ個人的な見解では、マイクロソフトのサイトや大手検索ポータルなどのHTMLソースがこれら廃止タグを依然使用している現状をみると、IE等ブラウザ上でも<CENTER>などのタグが無効になってしまうのはまだまだ先の話だと思われま

す。ここではあくまで、[Another HTML-lint gateway](#)で良い点数を取る為にはなるべくスタイルシートを使ったほうが良い、とさせていただきます。

-追記-

このコラムの題名である「正しいHTMLの書き方」を皆様に具体的にわかっていただける為にはどうしたらよいか??を考えたとき、[Another HTML-lint gateway](#)で皆様のサイトをチェックされてからミスを修正する”消去法”をお勧めしようと考えました。それは殆どの方が初めてホームページを作る際、ホームページビルダーやFront Page等のソフトで作り始めて、その後これらソフトでは足りない部分を補おうとタグを勉強し始める、という現実を考えたからです。

ホームページは上記ソフトで誰でも作れます。またCoolやかわいいなどといった部分も画像素材、フォトショップを使ったりで簡単に実現できます。フラッシュなども[SWISH](#)等色々なソフトで手軽に作れますしね。ソフトは慣れですから。。。ただ音楽やスポーツなどを含めて、物事の上達にはある一定の”壁”が存在します。サイト作成において私はその壁を「上記ソフトでは実現できない何か」だと考えております。

しかし私にもその「何か」はわかりません(笑)。ただHTMLの論理構造を知ること、ソフトを操る上でも大事な・・・とは思っています。

>HTMLでSEO対策

SEOとは?

今現在インターネットユーザーの80%は、検索エンジン経由でウェブサイトを訪れているそうです。で、SEOというのは「Search Engine Optimization」の頭文字をとったもので、日本語では「検索エンジン最適化」などと略されています。今このSEOが大変注目されています。

SEOをご自分のウェブサイトへ施すことは、上記の80%近くのトラフィックを獲得し、非常に多くの訪問者を得ることを可能にします。つまり、「検索エンジンに引っかかりやすくするように自分のサイトを改造する」ことがアクセスアップの第一歩というわけです。

では具体的にどのようにすればいいのでしょうか?以下に私の考えを述べさせていただきます。

VS ロボット

まず検索エンジンはディレクトリー型とロボット型の2種類に分けられます。ディレクトリー型には[Yahoo!](#)と[DMOZ](#)の2つが代表的で、それぞれエディターによる審査によって選ばれたサイトのみが登録されています。ですがSEOの本来の概念は「(某書引用)サイトの重要な要素、評価してほしい要素をロボット型エンジンに適切に伝えられるように、個々のウェブページのHTMLコーディングやウェブサイト構造を見直す一連の作業」を指すので、ディレクトリー型エンジンへの登録対策はここでは省きます。

で、後者のロボット型検索エンジンで如何に上位に表示され、尚且つそこに適切なコメントを表示させアクセスを得るか・・・を考えてみます。

1. [Google](#)に登録する。
2. HTMLの書き方に気をつける。
3. 検索エンジンスパムをしない。
4. その他

Google独占市場

まず1.ですが、日本のロボット型検索エンジン対策 = Google対策といっても過言ではありません。[Yahoo!](#)など日本の主要ポータルサイトのほとんどが、ページ検索としてGoogleを採用しています。Googleはスパイダーと呼ばれるソフトウェア(ロボット)を利用して、自動的に世界中に存在するウェブページ情報を収集していきます。したがって勝手に登録されてしまうものなので本来登録という作業は必要ないのですが、新規に開設したようなサイトであれば登録申請をしておいてもよいかと思います。

HTMLのチューニング

つぎに2.のHTMLの書き方ですが、以下某書籍を参考にしたものを箇条書きにしてみます。

- <TITLE>内の文字はそのまま検索結果一覧の見出しとして利用されるため、サイトタイトルなど固有名詞以外にも重要なキーワードを入れるべき。
- <BODY>タグ直後の200文字程度が特に重要視される。
<BODY>タグ直後に<TABLE>などレイアウト用のタグが長く続かないよう心がけるべき。
- <META name=keywords>や<META name=description>は現在の多くの検索エンジンには対応していない為書かなくても良い。
- <A>タグには含まれた文字は重要なキーワードとして評価される。
バナー等画像でのリンクは控えるべき。
- <H>タグ内の文字は見出しを表すものであり、検索エンジンも重要なキーワードであると認識している。
- 上と同様にやなど強調をあらわすタグ内も重要なキーワードがあると検索エンジンは認識する。必要に応じて使用すべき。

検索エンジンスパム

つぎに3.の検索エンジンスパムについてですが、検索エンジンスパムとは「検索結果の上位に表示させることだけを目的に、検索エンジンのアルゴリズムを悪用した手法を実践し、検索結果の精度を低下させる行為」を指します。つまりJavaScriptやCSS等を悪用して、実際画面には表示されずサイト内容と関係ない検索キーワードなどを隠す行為をされては迷惑、というわけです。ただし既にGoogleなどの検索エンジンではこれらスパム行為に対策がなされていて、全く効果がないばかりでなく、検索結果が下位に下がるなど厳しい罰則もあるそうです。逆に普通に正しい構文でサイトを構築していれば検索結果の上位に行きますよ、とも言い換えられると考えられます。

SEOのまとめ

最後にその他のSEOテクニックをまとめてみます。

- 検索エンジン最適化において「HTMLがシンプルで論理構成が明確なものほど良い」といわれている。
理由は、余分なタグが存在せず検索エンジンが容易に内容を評価できるからである。
- フレームを利用したサイトを作らない。
なぜなら、親フレームに文字情報が無い場合がほとんどだからである。
- JavaScriptやCSSを使用している場合は外部ファイルに設定する。
<BODY>タグの出現位置を高くし、テキスト文字の重要度を高める効果がある。

>ソースを隠す方法

HTMLソースは隠せる？

これを望む管理人の思惑はさまざまですが、一般的には『画像ファイルを持っていかれたくない。そのURLを隠したい』などや中には、『優れたサイトなのでそのHTMLソースを流用されたくない』と

いう方までいらっしゃると思います。果たして隠すことは可能なのでしょうか？
まず最初に述べますが、完全に隠すことは不可能です、と思います。。。でもある程度なら・・・という
ことで、その方法を考察していきたいと思います。

1. ブラウザの機能を制約する(右クリ禁止等)。
2. 上記に+αして・・・
3. エンコードする。
4. XORで暗号化。
5. サイト全体をフラッシュで製作する。
6. その他

ブラウザの機能を制約する

まずは、1のブラウザの機能を制約する方法ですが、右クリ禁止は全くといってよいほど意味が有り
ません。ですよね・・・？IEならブラウザ上部のパネルに『Notepadで編集する』があるんで。。。そ
れらも使えなくさせる方法が有るそうですが、私は知りませぬ。。。ちなみに右クリ禁止の方法は二
通りありまして、両者とも当サイトコンテンツ[☒JavaScript](#)と[☒HTML](#) に詳しく掲載してますので、
ここでは省略します。

というわけで2の方法ですが、一般的？には『フレームページ+右クリ禁止+ソースに改行をしな
い』が有ります。目的にたどりつかせることを若干面度くさくしてはいますが、本題の『ソースを隠
す』ことにはなってないですね。

ソースの暗号化

では3のソースをエンコードする方法です。これにはマイクロソフトの[Script Encoder](#) というツール
を使います。IEにしか対応しないページになってはしまいますが、これは一応本題の解決として当
てはまるかと・・・

次に4のXORで暗号化する方法ですが、これは[ベクター](#)にツールが落ちてます。直リンしたいんで
すけど問題があると面倒なので・・・。そんなことよりこの方法はネスケでもいけるので最強かなと。
いずれにしても暗号化したものはJavaScriptで復元するので、これをOFFの訪問者はソースどこ
かサイト自体閲覧不可になってしまいます。

その他の方法

5の方法ですが・・・フラッシュの場合、埋め込まれたURLはテキストエディタ等で展開されるとバレ
てしまうのですが、ソースを隠すというよりソースそのものがある意味”無い”といえます、、まあ本
題から外れた極論ですが。

最後に6、その他として『ある言語を使ってウェブページを作る』があります。私はまだまだ初心者
から抜け出てないので、解説すら出来ません、、すみません。自分自身理解出来るようになったら
ここで紹介したいとは思っています。

>ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは

ホームページを作るということは、世界中の人々に作品を発表する行為とも言えます。個人サイト
レベルで、外国人を意識した外国語のサイトを制作してる方は少ないでしょうが、『なるべくならよ
り多くの人に見てもらいたい』とは誰でも考えているとは思いますが、これら不特定多数の訪問者にボ
ーダレスなサイトデザインのことを、[☒ユーザビリティ](#)、[☒アクセシビリティ](#)とあわせて「ユニバー

サルデザイン」と言います。

装飾的なデザインとの相反

実際問題として、装飾的なデザインとユニバーサルデザインとは相反するものがあります。つまり装飾的なデザインを行う上でJavaScriptやFlash、スタイルシート等が欠かせないにも拘らず、携帯電話や一部ノートPCなどのプアーなWebブラウザではこれらは反映してくれません。

しかし個人サイトレベルでは想定したターゲットというものが存在するわけで、このコラムを読んでくださってる殆どの方は『IE6.0以上で解像度1024*768』の訪問者向けにサイト制作をされていると思います。そして携帯サイトが必要な場合はCHTMLで記述し別に設ける、当然それで良いと思います。でも装飾的かつユニバーサルなデザインというのは本当に実現不可能なのでしょうか？

装飾的かつユニバーサルの実現

結論からいいますと実現は可能です。前述したプアーなWebブラウザの進化は凄まじいです。i-mode端末ではFlashが見れるそうですね。今まではファイルサイズや小さいピクセル寸法がデザインのネックになってましたが、今後はそれらが大きくなる程度のサイト制作で構わないと思います。つまり機械技術の方から近づいて来ている訳です。

最後に

皆さんでも既に知ってるようなことを何故ここで私が述べたかという、プアーなWebブラウザでは表現出来ない技術『JavaScriptやFlash、スタイルシートなど』の使用がユニバーサルデザインにおいて”悪”だという意見が余りにも多いからです。

確かに現時点ではテーブルタグを使用した時点でi-modeでは表現されない、JavaScriptでメニューを作ったらテキストブラウザでは・・・云々あります。しかし日本でもっとも多く使用されているブラウザはIEではありません、携帯Webブラウザです。最も多くの人に使用されているブラウザがリッチなものに進化していくのはテクノロジー進歩の中で必然です。

私たちがサイトを制作する上で、ターゲットを想定しなくても良い日がわりと直ぐ側まで近づいているような気がしています。

>アクセシビリティ

アクセシビリティとは

サイトのアクセシビリティを向上させることは、サイトのアクセス向上に深く関係していると言われています。

ちなみにWebにおけるアクセシビリティ(Accessibility)とは、『誰もが使えるバリアフリーであるサイト』とW3Cの[ウェブコンテンツ・アクセシビリティ・ガイドライン](#)で定義されています。つまりサイトの「バリア(障害・壁)」となるものを「フリー(取り除く)」ことがアクセス向上に不可欠というわけです。

アクセス向上に不可欠？

上記ウェブコンテンツ・アクセシビリティ・ガイドラインは別にアクセス向上を謳っているわけではなく、サイトを作るときは障害者や高齢者でも使い易いサイトにしましょう、と提唱しているだけですが、“誰にもわかりやすい、使いやすい”万人向けのサイトを制作することは、アクセス向上にも有益であると私は考えます。

では具体的にはどのようなサイト設計をしたらよいのでしょうか？上記ガイドラインでは”正しいHTML構造で記述する”ことが大事であり云々、、と言っていますが、ここでは違った角度からアクセシビリティを見ていきたいと思います。

= 参考ソース =

1. [☐アクセス向上研究会](#)
2. [☐バリアフリーWebデザインガイド](#)

装飾的かつバリアフリーの実現

参考ソース1で「バリアーとなり得る要素」が具体的に例示され、参考ソース2でいわば「バリアーの無いサイトの作成方法」が解説されています。読みやすい内容ですので、是非参考にしていただきたいですが、ただ私としてはアクセシビリティにこだわるあまり、サイトの個性である”装飾的なデザイン”が失われては意味が無いと考えます。

”万人向け”と”個性的”は相反するものかもしれませんが、どちらもアクセス向上には不可欠です。折り合いといえますか、ここでの私なりの結論として

『個人サイトなら自分の色を失ってはいけない、しかしどんなユーザーに対しても最低限の情報を必ず伝えることができるサイト制作が必要である。』

以上は理想論です。が実現されているサイトも存在します。

デザインを追及し個性的でありながら且つ多くの人に認められアクセスがある・・・
私はかなりまだまだですが、いつの日か・・・と妄想しています。

>PDF



当webページ (<http://www.awcs.org/columns/>) をpdfファイルで閲覧することができます。

http://www.awcs.org/columns/_pdf



Copyright © 2004 AWCS. All Rights Reserved. [Sitemap](#) [E-mail](#)